

## 【会議録】

主題 平成 28 年度第 4 回つくばみらい市障がい者支援協議会

●日 時：平成 29 年 1 月 12 日（木）14：00～16：00

●出席委員：宮島孝明会長，伊藤勝枝委員，大久保安雄委員，間宮正孝委員，遠藤光委員，片山とよ子委員，黒江悦子つくば保健所健康指導課長（本多めぐみ委員代理），石澤昭博委員，岡野純子委員，飯村晴代委員，鈴木恭子委員，中村俊介委員

●オブザーバー：高橋健次氏（市身体障害者福祉協議会会長代理）

●事務局：関課長，境野，塚田（進行）（コンサルタント：(株)まち研 濱田，佐藤）

●傍聴者：2 名

### ▼議事

(1) 第 3 期つくばみらい市障がい者計画（案）のパブリックコメントの結果について

・パブリックコメントを，平成 28 年 12 月 6 日から平成 29 年 1 月 4 日まで実施した結果，2 名の方から合計 10 件の意見の提出があった。それぞれの意見の内容と市の考え方を説明する。（境野主査）

### 【意見等】

・どのように改善した方がよいのかと提案いただけたことは良かった。計画案をしっかりとご覧いただいていると感じた。具体性に欠ける部分があるとの意見もあったが，これから取り組んでいってもらいたい。

・素案 55 ページにあるインクルーシブ教育の意見があったが，どういったことなのか，知らなかった。

(回答) パブリックコメントをいただいた方はご存知であったことだと思う。学校の現場でもインクルーシブ教育という言葉はご存知だと思う。しかし，聞きなれない言葉でもあるので，周知する意味でも計画書に載せることにした。

・丁寧に計画案を読んでもらったものだと感じる。頭が下がる思いである。皆さんからいただいた意見を追加して案がまとまったということで，しっかりと計画として推進していければよいと感じた。

(回答) パブリックコメントについては，10 件の意見に対して，今回，5 件に対して間接的ではあるかもしれないが計画書に反映した形である。

・これまで議論してきた中で，足りない部分など色々パブリックコメントの意見をいただき，反映されまとまったことはよかったと思う。

→事務局案で了承。

(2) 第 3 期つくばみらい市障がい者計画概要版（素案）について

・概要版の作成の考え方を説明する。（境野主査，コンサル佐藤）

**【意見等】**

・概要版はどのくらい印刷するのですか。

(回答) 毎年、世帯数も増えているところであるが、概要版については、全戸に配布する予定で印刷を予定している。

・障がいというと、何となく身体障がい者が思い浮かんでしまうので、知的能力のない方のイラストなり、説明なりが入らないか。障がいについてすべて載せるのは難しいと思うが、小学生などにもわかるようなイラストなり説明が入っていると、全戸に配布するので理解を促すうえでも良いのではないか。障がいには色々な障がいがあるということが分かるとよい。

・差別解消法に基づき、市で取り組む条例などもできたところだと思うが、国をあげて差別を解消するといったアピールも必要ではないか。

(回答) 市では対応要領を作成しているところである。

・足立区のヘルプカードにイラストがあり、再認識したところではあるが、皆さんが目にするものに誤解なく入れることは難しいなど感じる。

(回答) できるだけ工夫していきたい。誤解を与えるようなことがあってはいけないので配慮していきたいと思う。

・イラストであると誤解を感じてしまう。ヘルプカードの説明のイラストでは知的障がいは子どもになっているが、当然大人の方もいるし気になる人もいると思う。

・イラストになってしまうと、インパクトが強いので、障がいは自分が感じるのと、その人が違う場合でも手助けをしようとかということもあるので、例えば、障がいには、外見ではわからない方もいます。といったわかりやすいキーワードが入ればよいのではないか。

・イラストを入れることで、障がい者のイメージを固定化してしまったり、難病の方もいれば、種類も様々あり色々な障がいがある。

・イラストでなく、言葉として示すのがよいと思う。障がい者というと、3障がいがあることも分かっていない人がいる。障がい者の表現を上手に示せばよいと思う。

(回答) 本編では、できるだけ優しい言葉で説明を加えられればよいと思う。概要版ではイラストではなく、やさしい言葉で伝えていく方法を検討する。

→障がいについて、優しい言葉で伝える方向で了承。

**(3) ヘルプカードについて**

・ヘルプカードの概要を説明する。現在、東京都で行っているヘルプカードをイメージして市でも作成できないか検討しているところである。(境野主査)

**【意見等】**

・ヘルプカードには、個人情報が入るので、難しいこともあるかもしれない。

・つくば市では、サポートブックで取り扱っている。内容的には同じようなもので項目はもう少し多いが、特別支援学校の生徒等を対象に、関係機関に伝えられることが必要

でないかということで専門部会で作成した「ステップノートあゆむ」があるので、ホームページにも載っているのでぜひご覧いただきたい。

- ・災害時、常総市の水害などあった時にヘルプカードで対応可能なことがあると思う。パニックになってしまった際でも、早めの対応ができて役に立つものだと思う。ヘルプカードというのは東京都独自の名称かと思う。それに近い名前でもよいのかもしれない。

- ・県では、障がい者のサポートブックとして作成している。

(回答) 県では、サポート手帳というものがあり、そこに様々な内容を書くことはある。

- ・情報を伝達する意味では、住所と薬の情報。これは認知症の方にも使えると思う。
- ・このようなものを作成するのはよいことだと思う。あとは、内容を考えて、他市などが真似したくなるようなものができるとういと思う。

→協議会では作成するという方向で了承。事務局として、導入に向けて前向きに検討していく。

#### (4) その他

→計画案について、資料編を添付した。

- ・2月下旬から3月にもう一度、会議を開催し、計画を決定していく予定。
- ・委員名簿は、平成29年1月1日を基準として作成する。障がい福祉サービスの内容、用語のご案内を掲載する予定。
- ・障がい者支援協議会の要綱に、障害者差別解消支援地域協議会としての機能を有するというところで正式に要綱を改正した。現在のところ具体的な相談はない。

#### 【意見等】

- ・76ページに訪問系のサービスで訪問看護が入っていない。

(回答) 障害福祉サービスの中では、訪問看護という事業はない。しかし、大切なサービスであり、別の項目を設けて説明をして追加していきたい。

#### 【配布資料】

- ①次第
- ②第3期つくばみらい市障がい者計画（案）
- ③第3期つくばみらい市障がい者計画（案）に対する意見の内容および市の考え方（案）
- ④第3期つくばみらい市障がい者計画概要版（素案）
- ⑤ヘルプカードについて
- ⑥つくばみらい市障がい者支援協議会要綱

以上